

# 平成22年度第17回都市経営会議

日時 平成23年2月14日(月) 10:00~11:30

会場 市長会議室

参集者 西尾市長 谷澤副市長 小柏副市長

渡辺企画部長 上戸総務部長 片岡財務部長

## 議題(1) 市民体育館整備基本計画の中間報告について

◎対応 妹尾生涯学習部長 小林次長 岡崎次長 西田スポーツ振興課長  
大島施設課長 對馬管理課長 荒井都市建設部長 秋田土木部長

### ◆ 議題の趣旨 ◆

市民体育館整備基本計画に係る中間報告書が出来たので、その内容について協議をしました。

### ◆ 協議の結果 ◆

可動席や会議室の必要性のほか、全体事業費をどの程度とするのかについて意見が出ましたが、事業費は概算で示すこととし、具体の施設内容等については、今後基本計画を調整するなかで整理することとして原案は了承されました。

### ◆ おもな発言 ◆

#### ■ 妹尾生涯学習部長

市民体育館整備基本計画に係る中間報告書が出来たので協議をいただきたい。基本計画には、整備の背景、立地場所、競技団体へのアンケート調査、他都市の事例、想定される競技、アリーナ規模の検討、既存施設の改修検討、立体駐車場の検討、景観上の配慮を踏まえたうえで、整備の基本方針、基本計画概要、アリーナの管理運営、概算事業費、整備スケジュールを記載することとしたい。

計画の概要は、メインアリーナ棟を現在の市民体育館側駐車場に増築し、メインアリーナをバスケットボールコート3面の設置が可能な大きさとし、観客席は、可動席と固定席を合わせ2,000~3,000席程度を確保するほか、多目的会議室などを設ける。現在の体育館については、耐震診断調査の結果、比較的良好な状態であることが分かったことから、必要な改修を行う。立体駐車場については、300台程度を確保することとしたい。平成23年度にプロポーザルコンペ、平成24年度に基本設計、平成25年度に実施設計、平成25年度から26年度にかけて本体工事を行い、平成26年度末までには整備事業を完了することとしたい。

■西尾市長

可動席は必要なのか。

■妹尾生涯学習部長

決勝戦やプロの試合などでコートを1面しか使わない時などに、可動席をせり出し、多くの人に観覧してもらえるようにするため必要だ。

■西尾市長

可動席は内側を向いているので、文化イベントなどでは使えない。パイプイスなどを周辺に配置すればいいのではないか。

■小柏副市長

大規模な大会の開催の際には、固定席だけでは足りなくなる。パイプイスでは段差がないので、外側の人を観覧しにくくなってしまう。

■渡辺企画部長

可動ステージを採用すれば、一部の可動席も活用できる。コンベンション施設としての利用など先々を考えれば、ステージを固定しない使い方の方がよい。

■對馬管理課長

Vリーグの函館大会では、後方の客にも見えるように別途観客席を設営したが、そのために多額の費用をかけている。余計な経費がかかるとなると主催者側も開催をためらう傾向がある。可動席は必要だ。

■谷澤副市長

可動席の設置にかかる費用が大きいのが問題だ。

■西尾市長

文化イベントなどは一方向からしか見ない。横の可動席は不要ではないか。

■大島施設課長

色々なイベントが想定される。限定した使い方にならないようにしたい。

■谷澤副市長

文化、スポーツなど色々なイベントが考えられるが、主要となるのはスポーツになる。どちらかにシフトした方がいいのではないか。

■小柏副市長

スポーツに特化することで収入は落ちるが、施設整備の経費を抑えることは出来る。

■渡辺企画部長

可動席を移動できるものにすれば配置が自由になる。研究の余地はある。

■ 妹尾生涯学習部長

その場合、別途器具庫を設ける必要がある。

■ 西尾市長

他都市の事例では、観客席はこのような振り分けになっているのか。

■ 妹尾生涯学習部長

固定席とともに可動席を設けているところが多い。

このたびは中間報告ということで、この案で議会や各種団体から意見を求めるとともにパブリックコメントを実施したい。そこで出た意見などを調整するなかで、具体も整理して基本計画としたい。

■ 西尾市長

整理された基本計画に基づき、プロポーザルコンペを実施していくのか。

■ 妹尾生涯学習部長

別の視点から提案も期待できることから、アリーナと既存施設を合わせ、プロポーザルを実施したいと考えている。

■ 片岡財務部長

事業費はこれで決めてしまうのか。会議室を設置するのかなど、整備内容もまだ詰める余地があると思われる。

■ 西尾市長

使い勝手を考えれば、アリーナにも会議室は必要だ。

■ 片岡財務部長

既存施設でも使えないわけではない。

■ 小柏副市長

会議室がアリーナから離れていると、大会の時に使い勝手が悪い。

■ 西尾市長

事業費に関してはもう少し工夫をして抑えられないか。

■ 妹尾生涯学習部長

会議室の設置などに影響が出てくる。

■ 西尾市長

中途半端な施設にはして欲しくない。事業費に関しては概算で示すこととし経費の圧縮に努力して欲しい。

## 議 題(2) 縄文文化交流センターの管理運営について

◎対 応 妹尾生涯学習部長 小林次長 岡崎次長 西田スポーツ振興課長  
大島施設課長 對馬管理課長 阿部参事

### ◆ 議題の趣旨 ◆

縄文文化交流センターについて、前回の都市経営会議で継続協議となっていた部分が整理されたので、その内容について協議を行いました。

### ◆ 協議の結果 ◆

原案のとおり了承されました。

### ◆ おもな発言 ◆

#### ■ 妹尾生涯学習部長

縄文文化交流センターについて、前回の都市経営会議で継続協議となっていた部分について整理したので、協議をお願いしたい。

地域振興を南茅部支所に任せた方がいいのではないかという指摘については、現在、支所を含めた関係部局と地域振興策について協議を進めており、関係部局が各種団体と連携を図りながら主体的に取り組んでいくこととしたい。

課を新設せず、現行の参事体制で対応すべきとの指摘については、総務部と協議をした結果、現行の体制のままでも一定の権限を付与できることとなったので、現行の体制を維持することとしたい。

総務常任委員会に説明すべきとの指摘に関しては、資料をとりまとめ2月中旬には資料配付することとしたい。

#### ■ 西尾市長

地域に対する配慮が足りないとの声も聞かれるので、地域との連携に関しては、よく話しあって、皆で盛り上げるつもりで進めて欲しい。